

開成の杜

第121号 ●2023年6月6日 ●郡山女子大学大学院 ●郡山女子大学 ●郡山女子大学短期大学部 ●郡山女子大学附属高等学校 ●郡山女子大学附属幼稚園

●発行所／学校法人郡山開成学園 〒963-8503 郡山市開成3丁目25番2号 ☎024(932)4848(代) <https://www.koriyama-kgc.ac.jp> ●発行人／学園長 関口 修



晴れて学園の仲間に(撮影 山口郁生)

古来、人間は失敗と成功を繰り返して、無から有を生み出した。現在の発展を創り出したことは周知の事実です。しかし、私たちは失敗を恐れま

経験をする。経験とは人生にとって不可欠であり、あらゆる発展の原点ではないでしょうか。

人生のなかで多くの先輩から貴重な薫陶をいただいたのですが、経験の重要性を教えてください。ドイツのチュービンゲン大学の名誉教授であったO・Fボルノー先生でした。先生の教えは「成す事によって学ぶ」とか「人間は行為によって形成される」など経験を重んじた実存主義の哲学者でした。

毎年3月になると東日本大震災当時の苦労を思い出し、今年も能登半島が大きな災害に見舞われました。私は災害や人災を問わず、恐怖感覚が増大しているのではないかと社会環境の変化を考えています。一方では桜の開花が例年になく早いのに驚き、磐城や相馬の海で伊勢海老や河豚が取れるとの新聞記事を読むと、温暖化で今年の夏は熱波の襲来があるのではないかと等々と、何の根拠も持たずに曖昧な推測をして、恐れながらも楽しい妄想をもしています。このような憶測は何故おきるのか自問自答をしてみました。

開花が例年になく早いのに驚き、磐城や相馬の海で伊勢海老や河豚が取れるとの新聞記事を読むと、温暖化で今年の夏は熱波の襲来があるのではないかと等々と、何の根拠も持たずに曖昧な推測をして、恐れながらも楽しい妄想をもしています。このような憶測は何故おきるのか自問自答をしてみました。



理事長・学園長 関口 修

経験こそ学びのはじまり。

然り乍ら、普通の人間には安らぎも必要でしょうが、物事を追求する心は経験が深まり余裕となりますので、学びの手段にもしたいものです。この様な複雑多岐にわたる観点が求められる思考は議論する術を会得しますので対話能力にもなるでしょう。

失敗は苦労をうみ、幾度かの苦労を重ねるうちに解決方法を見出し、その喜びを享受してきたのではないのでしょうか。

即ち、失敗の原因を探るためには沢山の思考過程を経て原因に辿り着き、幾度もの試行を重ねて成功の喜びに辿り着きます。その時の喜びに生きていく意義を見出しているようです。苦労の解決思考を重ねることで探求心が旺盛になるのだと思います。

古来の格言には、楽は苦の種・苦は楽の種と言いますが、若い内には苦労を買ってでもなどという教訓や、艱難汝を玉となす教えがありますが、現代の一般的風潮は苦労を避け、ハラスメントになってはいないでしょうか。

学問を学ぶ人のなかには早く覚える人もいますし、失敗をしながら時間をかけて覚える人もいます。人間の特性であるかと思えます。

スポーツの世界でも同じようなことがあります。野球のWBC(ワールド・ベースボール・クラシック)での大谷選手のような体格に恵まれ天才と呼ばれる人でも、他に倍する努力の成果が継続され、結果につながっているのです。

郡山開成学園家族会が総会

4年ぶり 対面開催 芦名会長を再任

郡山開成学園家族会の令和5年度総会は5月20日、建学記念講堂で開かれた。

コロナ禍の影響により対面形式では4年ぶりの開催となった。芦名潤一会長、関口修名営会長(学園長)があいさつし「学生、生徒の充実した学園生活を支えるため力を合わせてまいりましょう」と呼び掛けた。

議事では、令和4年度会務報告と会計決算・監査報告を受けた後、令和5年度事業計画と



あいさつする芦名会長

予算を原案どおり承認した。

事業計画の教育懇談会は、大学・短大部会が方部別としては開催せず、保護者が必要に応じて来校しアドバイザーや関係部署と個別面談する。高校部会は6月から9月にかけて附属高校で催す教育懇談会を方部会とする。

このほか、学園行事「もみじ会」等への積極参加、県内PTA活動との連携強化、教養講座・芸術鑑賞講座の支援などを盛り込んだ。

役員改選を行い、芦名会長を再任、副会長に星美江さん(大・短部会長)と三瓶信晃さん(高校部会長)を新任した。

席上、退任した次の前役員に感謝状を贈った。

▽感謝状贈呈者 黒岩堂真理子、鈴木基修(以上副会長) 吉村美智子、長谷川光恵、中畠由子、鈴木純子、菅野高秀(以上幹事) 鎌田伸男(監事)

学友会役員が卒業式前に清掃、記念写真撮影も設置

大学と短期大学の学友会は、きれいなキャンパスから卒業生を送り出そうと、3月の卒業式前日に学内の清掃を行った。

役員24人が手分けをして、式場の建学記念講堂を中心に周辺の掃き掃除やモップ掛け、ベンチの拭き掃除などに励んだ。

また、講堂の展示ロビーに卒業生が記念写真を撮影できるフォトパネルを設置。式当日、友人や恩師らと一緒に笑顔で収まる光景が相次いだ。



卒業式前に清掃をする学友会役員

チャイルド・ミュージック 根本さんがマリンバ演奏

総会終了後、短期大学部幼児教育学科チャイルド・ミュージックコースの根本愛美さん(2年)がマリンバの演奏を披露した。根本さんはマレットと呼ばれるばちを巧みに操り「ふるさと」など3曲を演奏した。



マリンバを演奏する根本さん

就職部より

令和4年度の就職活動は早期化が進み、長期化の傾向も見られたが、最終の就職率は大学・短大ともに100%となった。各科主任・就職委員・アドバイザー・関係各位に心から御礼を申し上げたい。

求人は回復の兆しは見られたが件数は増えず、長期の就職活動となった。オンラインによる説明会・面接が増え、オンライン面接での人物把握にはギャップを感じている企業も多く見受けられた。本学は資格を活かした専門職での割合が多く、幼児教育学科は98%を占めている。また、管理栄養士・栄養士・福祉・建築・教職・司書等の就職でも希望する職に就いてい

令和4年度 附属高校における進路状況について

令和4年度卒業生の希望進路先合格・内定の割合は98.7%となった。目標の100%には届かなかったものの、ほとんどの生徒が希望の進路先に合格・内定をし、満足度の高い結果を得ることができた。進路先の内訳としては、進学が80.3%、就職が18.4%である。

進学では本大学に16名、本短大に39名が合格したのをはじめ、大学へ53名、短期大学に42名が合格した。昨年度の本校の状況としては、第一志望実現率が99.6%と高い結果となった。一昨年「総合型・学校推薦型選抜」での全国大学入学者数が初めて半数を超えたと話題になったが、本校も同様の傾向が見える。一方、一般選抜において国公立大学への合格や第一

志望の私大への合格を決めた生徒もおり、最後まで挑戦する姿勢がうかがえた。今後、一人でも多くの生徒が希望の進路先に合格することができるよう、適宜情報を提供し、面談を重ねるなど細やかな進学指導を進めたい。

就職においては、全国の高卒求人倍率も高く、本校もその影響もあり、就職活動を行った生徒は概ね希望する企業から内定を頂くことができた。また、公務員試験においても合格率が高い結果となった。今後も希望職種とのマッチングを慎重に見極めて就職指導を進める。今年度も附属高校としてキャリア教育を推し進めつつ生徒の未来を拓くべく進路指導を行いたい。

令和4年度 附属高校進路先一覧

進路先	人数	進路先	人数	進路先	人数
郡山女子大学	16	日本大学工学部	1	株式会社ヨークベニマル	1
福島県立医科大学	1	大同大学	2	株式会社三万石	1
福島大学	2	新潟薬科大学	1	有限会社やわらぎ乃湯	1
宮城教育大	1			株式会社日向	1
鹿屋体育大学	1	短大	39	株式会社イズムフーズ	1
大妻女子大学	1	郡山女子大学短期大学部	39	ファイブフォックス	1
昭和女子大学	1	仙台青葉学院短期大学	1	ゼネラルフィットネス株式会社	1
垂細垂大学	1	修文大学短期大学部	1	株式会社トブコンオプトネクス	1
大正大学	1	上田女子短期大学	1	宗教法人開成山大神宮	3
聖徳大学	1			株式会社東北村田製作所	1
帝京大学	1	仙台医療秘書専門学校	1	株式会社サンビックス	1
駒澤大学	1	仙台ウェディング専門学校	2	林精機製造株式会社	1
武蔵野大学	1	大宮こども専門学校	1	岩通マニファクチャリング株式会社	1
国際医療福祉大学	2	大宮スイーツカフェ専門学校	1	グラントマト株式会社	1
仙台大学	5	パンタンクリエイターアカデミー	1	山崎製パン株式会社	1
東北学院大学	2	国際アート&デザイン大学校	4	住友ゴム工業株式会社	1
東北文化学園大学	1	郡山ヘアメイクカレッジ	4	株式会社サンデリカ	1
宮城学院女子大学	1	国際公務員ビジネス大学校	1	株式会社アガツマ	2
福島学院大学	1	日本調理技術専門学校	1	株式会社カワチ薬品	1
中京学院大学	1	国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校	1	自衛隊	1
嘉悦大学	1	福島県立農業短期大学校	1	神奈川県警	1
桐蔭横浜大学	1	太田看護専門学校	2	喜多方市役所	1
立命館大学	1	国際医療看護福祉大学校	3		
尚絅学院大学	1	iキャリア医療福祉専門学校	1	その他	2
女子美術大学	1	郡山健康科学専門学校	1		
東北芸術工科大学	2	郡山看護専門学校	1		
		日本ウェルネススポーツ専門学校	1		

る。一般企業の一般事務職は狭き門になった。労働力について根本的に問い直す動きが産業界で起きており、デジタル史の節目といえる中で、会社も変化への助走を始めている。

先日、メタバースの仮想空間での企業説明会の案内があった。チャットでのコミュニケーションがあり、ゲーム感覚で楽しくブースを見て回り、スマートフォン1台で就職活動ができる。今後の説明会は従来通りなのか、メタバースを採用するのか、変化が著しい。

また、チャットGPTが出現



し、巧みに言葉を操る高度な人工知能(AI)の広がりを懸念する声が高まっている。就職でもエントリーシートをAIが作るといったことが報道された。ただ、その先には面接があることを考えてほしい。AIに寄りかか

る未来ではなく、AIを使いこなすには人に知恵と知識の蓄えが必要だ。学生時代の学びは、今後ますます貴重になる。



名曲の数々を演奏する川田氏(右)と岡本氏

第218回芸術鑑賞講座は5月17日、建学記念講堂で開かれ、川田修一氏のトランペット

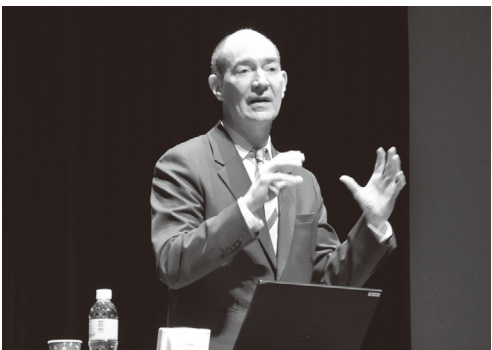
トランペットの魅力満喫
川田氏招き芸術鑑賞講座



日本文学に興味を抱いた理由や、郡山市出身の男性と結婚したイギリス人女性が東日本大震災後の福島県の現状を英語のブログで伝え続けたのをテレビ番組で取材したことなどを紹介。開かない扉はない。自分には無理と決めず可能性を信じて挑戦して「様々な声に耳を傾け、大切な命を守ったり、

令和5年度第1回教養講座は創立77周年記念日の4月22日、建学記念講堂で開かれ、日本文学研究者のロバート キャンベル氏の講演を聴いた。
日本の古典文学だけでなく、社会問題や芸術などに精通し、コメンテーターとしても活躍するロバート氏は「あえて日本語の中で生きるという事」と題して話をされた。

ロバート キャンベル氏が講演
創立77周年記念日の教養講座



埋もれた声の大切さなどを語るロバート氏

公演を満喫した。
川田氏は須賀川市出身で、東京フィルハーモニー交響楽団の首席奏者を務めている。公演では「トランペット大解剖!!」名曲と共に巡るトランペットの歴史」をテーマに、時代の変遷とともに改良された複数の楽器を紹介し、ピアニスト岡本知也氏の伴奏で演奏を披露した。
ハイドンの「トランペット協奏曲第一楽章」、プッチーニの「ムゼッタのワルツ」、カーマイケルの「スターダスト」、久石譲の「アシタカせつ記」などクラシックからジャズやアニメの映画音楽まで多彩な曲でトランペットの魅力を堪能させた。

成長する力を養ったりしてほしい」と呼び掛けた。
また、ウクライナの詩人が書くロシア軍の侵攻に苦悩する人々の証言集の翻訳に取り組んでいることに触れ、戦火に埋もれさせない意思を示した。

成長する力を養ったりしてほしい」と呼び掛けた。



宮廷の装束を解説する岡本氏

市が企画した。
元宮内庁首席主殿長の岡本和彦氏が講師を務めた。学生がモデルとなって十二単を、男性教員がモデルとなって直衣(のうし)の衣装をそれぞれ着付けした。一つひとつの衣装に込められた役割や意味などの解説に耳を傾け、平安時代の昔や、今も皇室に残る伝統文化に思いを馳せた。



十二単と直衣を身に付けた学生と教員

令和4年度第3回教養講座は「宮廷装束の華々十二単着装実演」と題し1月18日、建学記念講堂で開かれた。
本学の生活文化博物館に收藏された日本服飾史美術館人形の衣装を復元した井筒雅風氏の親族会社、井筒企画(京都

平安時代に思いを馳せる
教養講座で
十二単着装実演

学 科	月 日	時間	講義科目名
大学生生活科学科 社会福祉専攻	7/17月・祝	⑤	教育原理Ⅰ【教職】
	7/18火	⑤	こころとからだのしくみA【福祉】
	7/19水	⑤	知的障害者教育総論【教職】
	7/19水	⑤	生活支援技術A【福祉】
	7/21金	①②	調理学演習【教職】
	7/24月	③	ソーシャルワーク演習【福祉】
大学生生活科学科 建築デザイン専攻	7/17月・祝	②	建築史 ※
		③	家族建築学 ※
	7/24月	②	建築計画 ※
		③	建築環境工学 ※
大学食物栄養学科	7/22土	③	調理学実習(120分)
	7/25火	15:00	栄養教育論(60分)
		16:20	運動生理学(60分)
	8/22火	10:00	給食管理実習(120分)
短大健康栄養学科	7/4火	16:15	食品学(50分)
	7/22土	9:10	基礎栄養学実習(80分×2)
	8/26土	9:10	食品衛生学実験(80分×2)
	2/4日	9:10	調理学演習(80分×2)
短大幼児教育学科	7/27木	③	保育内容指導法 造形表現 ※
		④	保育内容指導法 環境 ※
	7/28金	①	幼児と言葉 ※
		②	子どもの理解と支援 ※
		③	社会福祉 ※
短大地域創成学科	6/17土	9:00	考古学(60分)文化・歴史系
		10:10	CG基礎(60分) アート&デザイン系
		11:20	情報概論(60分) ..ビジネス・情報系
	7/22土	①	博物館教育論.....文化・歴史系※
		②	図書館概論.....文化・歴史系※
		①	情報メディア論 ..ビジネス・情報系※
		②	女性文化史..... ビジネス・情報系※

時間の丸数字は時限。開始時刻①9:00②10:40③13:00④14:40⑤16:20
※(この印ついたもの)いずれか1つの講義でも参加可能。地域創成学科は組み合わせ自由

ちょっとサキドリ
女子大生

各学科の授業
参加者を募集

大学・短期大学の各学科は今年度も、ひと足早く高校生に講義や実習を体験してもらう「ちょっとサキドリ!女子大生」を実施する。
高校の夏休みや休日、放課後に当たる時間帯に設定した。事前に申し込みを受け付けた参加者に実際の授業とほぼ変わらない内容を体験してもらう。
参加無料で、時間があえば何年度でも、複数学科の受講も可能。6月以降の予定は【表】の通り。問い合わせは入学事務・広報部 電話024-95317805へ。

健康栄養学科で第1弾
行事食の柏もちを作る

短期大学部健康栄養学科は5月13日、第1弾として調理学実習を行った。
行事食について学び「柏もち」作りを体験した。参加した高校生は、蒸したもち米をこねたり、伸ばしたりした皮に小豆餡やゆず風味の白餡を入れ、柏の葉で包んで再び蒸して仕上げた。


行事食の柏もちを作った高校生

多彩なYouTube
動画をHPで公開

郡山女子大学のホームページでは様々なYouTube動画を公開している。
幼児教育学科の授業で制作したミュージカルや紙芝居(パネルシアター)、各学科の演習の記録、職場で活躍する卒業生のインタビューなどが投稿され、スマホやパソコンから視聴できる。


YouTube
HPのYouTube
▼チャンネル

ホームページは<https://www.koriyama-kgc.ac.jp/>

入学ようこそ開成の杜へ

大学院・大学・短大・専攻科 322名

希望の春

大学院第30回(大学第58回、短期大学部第74回、同専攻科第24回)の入学式は4月7日、建学記念講堂で行われた。

大学院修士課程1名、大学の生活科学科42名、食物栄養学科60名、短期大学部の健康栄養学科47名、幼児教育学科89名、地域創成学科70名、専攻科の文化学専攻3名、幼児教育学専攻3名の新入生と、大学3年次編入の生活科学科1名、食物栄養学科6名の合わせて322名が呼名され、関口修学長が入学を許可した。

関口学長は「地域社会の発展に寄与できる女性となるよう成長を期待します」と告辞を、来賓や在学生代表の野田瞳さん(生活科学科4年)が祝辞を述べた。

新入生を代表して鈴木杏奈さん(食物栄養学科)が「新たな学びの場で、それぞれの能力と個性を磨いてまいります」と誓った。

コロナ禍のため式に参列できなかった保護者や在学生も4年ぶりに出席し、新入生を温かく見守った。



関口学長の入学許可



誓詞を述べる鈴木さん



附属高等学校

附属高等学校の第67回入学式は4月8日、建学記念講堂で行われた。

普通科60名、音楽科7名、美術科11名、食物科16名の計94名が呼名され、関口修校長から入学を許可された。関口校長は「自分を生かすため学ぶことで教養と気品を身につけてください」と式辞を述べた。

在校生代表の堀江夢月さん(3年)や来賓らの祝辞を受け、新入生代表の眞弓桃香さんが「学習と部活動の両立を図り、自律した女性になれるよう精一杯取り組みます」と誓いの言葉を述べた。



附属幼稚園

附属幼稚園の第69回入園式は4月12日、建学記念講堂で行われた。

年少組と年中組の49名が保護者と手をつないで入場し、名前を呼ばれると返事をして立ち上がった。賀門康博園長が入園を許可し「たくさん遊んで、楽しく過ごしましょう」と呼び掛けた。

年長組の子どもたちが整列して歓迎の言葉を述べた。



私が郡山女子大学を志願した理由



大学 生活科学科
橋本 日菜乃

私は一人ひとりのクライアントに寄り添って思いやりのある設計を考えることで地域の活性化に携わり、社会に貢献できる女性建築士を目指しています。本学では建築の専門知識だけでなく、福祉の知識も学ぶことができ、授業を通して実践力が身につく点に魅力を感じました。学びを深めることで理想とする建築物を追求し、成長したいです。



大学 食物栄養学科
渡部 奈央

私は高校時代の部活動を通して、練習だけでなく体を作るための基本となる食の重要性を実感し、管理栄養士を目指すように思いました。そのため、管理栄養士になる学びがしっかりとでき、また興味のある運動生理学を学ぶことから本学を志願しました。将来は食事を通して、幅広い年代の方々の健康な生活を支えたいです。



短大 幼児教育学科
鈴木 里奈

私の理想は、子どもの気持ちに寄り添える保育士になることです。郡山女子大学は、東北で初の保育者養成学校であるため保育に関する知識が豊

卒業

飛躍を誓い新たな一歩

大学・短期大学部

大学第54回卒業式は3月18日午前、短期大学部の第72回卒業式と同専攻科の第22回修了式は同日午後、それぞれ建学記念講堂で行われた。



関口修学長が、大学は生活科学科24名、食物栄養学科66名の計90名、短大は健康栄養学科33名、幼児教育学科133名、地域創成学科71名の計237名の総代に卒業証書・学位記を、専攻科文化学専攻7名の総代に修了証書・学位記を授与した。各科の優秀な学生に学園長賞も贈った。関口学長の告辞、来賓らの祝辞に次いで、大学は吉田桃香さん(生活科学科)、短大は渡辺叶さん(健康栄養学科)の両在学生代表が送辞を述べた。多くのはなむけの言葉を受け、大学が高徳奈歩さん(生活科学科)、短大は高久愛加さん(幼児教育学科)が答辞で地域社会への貢献を誓った。

附属高等学校

附属高等学校の第64回卒業式は桃の節句の3月3日、建学記念講堂で行われた。普通科95名、音楽科8名、美術科14名、食物科35名の計152名が学び舎を後にした。



呼名に続いて各科の総代が登壇し、関口修学長から卒業証書を授与された。3年間の功績をたたえる学園長賞と学



園校長の表彰も行った。関口校長の告辞、来賓の根本匠衆院議員らの祝辞、在校生代表の堀江夢月さんの送辞を受け、卒業生代表の佐藤祐佳さんが「コロナ禍でソーシャルディスタンスと言われても友達との距離は近づけばいい。3年間の思い出とともに、未来への希望を胸に旅立ちます」と答辞を述べた。

附属幼稚園

附属幼稚園の第68回卒園式は3月19日、建学記念講堂で行われ、54名の園児が巣立った。卒園児は名前を呼ばれると元気に返事をして賀門康博園長から卒園証書を受け取った。園長の式辞の後、記念樹として白梅の苗木も贈られた。

来賓の祝辞、在園児の送る言葉を受け、卒園児は「小学校へ行っても、よくみる、よくきく、よくかんがえてを守り、勉強にスポーツにがんばります」と声をそろえた。



大学・短大・附属高校 卒業にあたっての受賞者

【大学】

▼学園長賞

高徳奈歩(生活科学科)

星花澄(食物栄養学科)

久岐愛奈(食物栄養学科)

商業施設士協会会長賞

菊地沙希(生活科学科)

日本ソーシャルワーク教育学校連盟

優秀者表彰

佐久間優衣(生活科学科)

介護福祉士養成施設協会会長賞

坂本茅里(生活科学科)

全国栄養士養成施設協会会長表彰

柳田文香(食物栄養学科)

▼短期大学部

▼学園長賞

林悠里(健康栄養学科)

齋藤理代(健康栄養学科)

高久愛加(幼児教育学科)

矢内真由花(幼児教育学科)

山田明依(幼児教育学科)

宇佐見紀香(地域創成学科)

酒井愛果(地域創成学科)

全国栄養士養成施設協会会長表彰

林悠里(健康栄養学科)

日本フードスペシャリスト協会会長表彰

長峰里奈(健康栄養学科)

全国保育士養成協議会会長賞

鈴木里佳(幼児教育学科)

情報処理士協会会長賞

佐藤希美(地域創成学科)

ビジネス実務士協会会長賞

渡邊結那(地域創成学科)

【附属高等学校】

▼学園長賞

梅沢永佳、長谷川珠姫、井上由海

▼学校長賞

鈴木美夢奈、亀石緑(普通科)、丹野

瑠菜(音楽科)、鈴木杏奈(食物科)

▼皆勤賞

遠藤未菜、佐藤小梅、白土梨奈、鈴

木亜里彩、西田美妃、榎田有那、若

杉美咲、亀石緑、黒澤美咲、小松優

梨、佐藤凛、丹野葵、富澤瀬莉葉、藤

島梨奈、湯坐美紅、二瓶真帆、長谷

川珠姫、渡邊日向(普通科)、丹野瑠

菜、渡邊優花(音楽科)、角口彩華、

増子葵、松山明日香(美術科)、橋本

汐音(食物科)

林凛香、大和田七海、小松未来、鈴木希優、根本優羽、三高玲奈、井上由海、紅林希美(普通科)、菅野柊音(音楽科)、加藤愛梨、菊地理子(食物科)

▼特別教育活動功労賞

バレーボール部 安藤楓恩、菅野明日華、佐藤小梅、鈴木亜里彩、西田

美妃、亀石緑、佐藤凛、湯坐美紅

卓球部 鈴木美夢奈、本間千尋、榎

田有那、伊藤今日香、望月美玖里

新体操部 橋本つづみ

陸上競技部 小林凛香、芳賀香葉

美、伊東舞莉彩、薄ひなの

剣道部 遠藤瑠衣、菊地理子、三瓶

詞乃美、井上由海、長谷川珠姫

弓道部 清水田あゆみ

ハンドボール部 伊東つぐみ、添田結

愛、南條沙莉、宗像美咲、大和田七

海、黒澤美咲、鈴木ゆき奈、吉田茉

央、二瓶真帆

マーチングバンド部 佐藤歩美、根本

優羽、菊地理子、志賀美優、鈴木結

可、宗方陽菜、山田心春

美術部 角口彩華

食物科 戸賀辺莉依

生徒会役員功労賞

佐藤祐佳、丹野瑠菜、佐久間葉、紅

林希美(生徒会役員)、井上由海、角

口彩華(風紀委員会)、長谷川珠姫、

久保木愛華(整備委員会)、伊藤彩

佳、田邊歩里(保健委員会)、菊地理

月、半澤珠莉(体育委員会)、河原美

幸(出版委員会)、小野七海、上石知

美(図書委員会)

生徒会活動功労賞

卓球部 大山乃愛

テニス部 安藤里紗

陸上競技部 高橋優佳

合唱部 根本奈々美、吉田彩恵

美術部 後藤珠夏

科学部 鈴木杏奈

華道部 小野七海

茶道部 鈴木彩花

英語部 早川満貴

日本私立中学高等学校連合会会長賞

佐藤祐佳(音楽科)

福島県私立中等学校保護者会会長賞

梅沢永佳(普通科)

富にある点や、附属幼稚園を併設しているため常に子どもが行動をよく観察することができると魅力を感じました。私が理想とする保育士になれるよう精一杯努力したいと思っています。

私が附属高等学校を志願した理由



附属高等学校 普通科
灰原 佑月

私は高校三年間で、なりたい自分を見つけ、選んだ道に進むことができるように、検定・資格の取得や様々な経験ができ、進学に有利である本校の普通科を志願しました。親身になつてくださる先生方に支えられつつ、自律した女性になれるように、また、充実した高校生活を通して自分の叶えたい夢も見つけることができるよう、日々を大切に過ごしていきたいです。

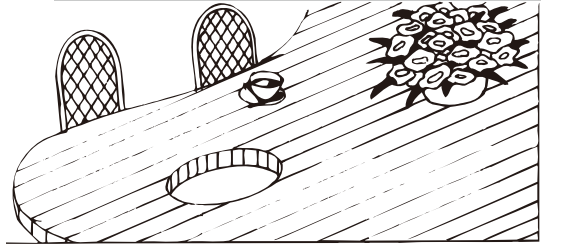


附属高等学校 食物科
佐藤 心愛莉

私は将来、食に関わる仕事に就きたいと考えています。私生活では食に触れることが少なかつたのですが、母が作るごはんを家族と一緒に食べるのが大好きでした。その想いは徐々に「私の料理で人を笑顔にしたい」と考えるようになり、食物科を志望しました。建学の精神である尊敬・責任・自由を意識し、人間性豊かな知性と教養に満ちた女性を目指します。

ティールーム

コミュニケーション・フォーラム



「藍」の工房

短大地域創成学科教授 齊藤 弘久

喜多方に伝わる会津型に出会って、染色工房れんがさんの主催する会津型研究会に入れて頂いて8年になります。型も版画だと興味をそそられ入会させて頂きましたが、自分の気質を持って行える範疇ではないなと肌で感じました。

型彫り師がいて、糊置き師に渡りさらに染師が染め上げ完成させます。それを思えば、私も版画の刷り師として長年活動をしてきたので、作家が制作した版を、作家の期待通りに刷り上げる喜びは、型彫り師が彫った型に糊を置いて忠実にその型の柄を染め上げるのに似ています。

版画は刷りで終わりますが、糊置きの後には染めの工程があった事が、私の人生において考えもしなかった出来事となりました。絵の具にしてもインクにしても青が好きだった私は、すっかり色幅の多い藍色のファンになってしまったのです。そして、葉膳としての藍にも興味を持った事で、栽培までする事になってしまいました。自然多いこの地での栽培は、昔、祖父と一緒に畑を耕していた頃を思い出します。

さて、本業の版画と言えば、埼玉より版画機材を郡山へ全て移し終えた今、これからは、皆様が集えて、藍も染められる版画工房を目指して行きたいと思っています。



喜多方 藍の畑9月花咲く頃

葛尾村でのボランティア活動



大学 食物栄養学科2年 遠藤 里香

私が昨年、学生生活で印象に残っているのは、大学が包括連携協定を結んでいる双葉郡葛尾村で特産物開発に使うエゴマとオヤマボクチの苗植えや収穫のボランティアに参加したことでした。

9月下旬に行い、どちらも天気の良い日でした。村内の畑で、みんなが汗をかきつつ楽しく参加することができ、貴重な体験となりました。

活動を通して、栽培方法やナタネの収穫方法が分かっただけでなく、コロナ禍で途切れがちだった人と人との関わりを少しずつ取り戻せているのを感じました。葛尾村の農家の方、先生、友人、他学科の方と交流し、改めて人とのコミュニケーションが大切であることを実感しました。

国際会議での貴重な体験



附属高等学校3年 関根 真子



昨年夏、私はいわき市で開催された「国際メンタリングプログラムJoshikai」に参加してきました。これは、女性の活躍を促進するために県内外の高校生や国内外の女性理工学者の方々と様々な事柄について意見交換をし、進路選択を広げていくことが目的です。

1日目に私たちのグループは子育てにおける夫婦の役割について話し合いました。近年、理解が進んだとはいえ「子育て＝女性」が担うものというイメージが未だに強く、多くの女性が悩んでいる現状に対して様々な立場や年齢の方々の意見を聞き、「夫と協力する」だけではなく自治体や国による現実的な支援が必要だと強く感じました。

2日目のテーマは「震災からの復興について」でした。この数年で確実に復興が進んだにも関わらず、福島県の農産物や水産物は風評被害を受けています。福島

食糧は海外諸国よりも厳しい安全基準をクリアしているというのを地道に伝えていくしかないという結論に達しました。このプログラムを通して、多くの方と意見を交わすことができた。特に、海外の方たちと直接話をするというのは私自身初めての経験であり、自信につながりました。しかし、自分が暮らす県なのに知らないことが多く返答できない場面も多くあったので、まずは私自身が福島県のことをもっと知り、福島のことを発信できるようにしたいと思います。



国際会議に出席した関根さん(中央)

私の本棚

「りんごかもしれない」

著者 ヨシタケシンスケ

出版元 ブロンズ新社

郡山女子大学附属高等学校

教諭 山崎 知加

娘が小学校に入学した年だったと思う。外食をして、食事が提供されるまでの時間を埋めるために、お店の本棚から彼女が持ってきた本が、ヨシタケシン

私は障がいのある無で分けられない社会の実現を目指し、障がい者に対する態度やコミュニケーションの研究をしています。きつかけは、障がいのある友人と一緒にいた時の周りの人達の態度に驚いたことです。ジロジロと友人を見つめる人や、逃げるように離れる人、逆に馴れ馴れしく話しかける人など、明らかに私と友人で態度が違いました。

私には彼らに悪意があるとは思えず、むしろ「どうしたらいいのかわからない」といった不安や緊張があるように感じます。その背景に、障がい者と接する際には何か特別な知識や技術が必要だと考えているのではないのでしょうか。もちろん専門的な仕事に就く人には必要です。しかし、日

生活診断室 シリーズ⑦

心のバリアフリーとは何か

郡山女子大学家政学部生活科学科

講師 藤村 励子

常では特別なことは必要なくて「普段通りにすればいいの」と思います。例えば、相手によつて言葉遣いを変える(年上の方に敬語を使う等)、困っていたら助ける、ジロジロ見ない、仲良くなりたければ友達になる。これらは人として当たり前のことです。いつもは普通にできるのに相手が障がい者だとできなくなるのはなぜ?と不思議に思い、研究を続けています。

皆さんはどうですか?街で見かけた時、一緒にごはんを食べる時、あなたはどんな態度ですか?今後どう振舞えばいいですか?誰もが認められ受け入れられる社会は、誰にとっても生きやすい社会であり、一人一人が作るものです。ぜひ考えてみてください。

スケさんが書いた「りんごかもしれない」だった。食事を終え、お店を出て、買い物に行こうかと話すと、娘は書店に行きその本が欲しいと言った。「そんなに気に入ったんだ。」程度の思いで、本を購入したが、娘が音読してくるたび、私も虜になった。この本の面白さは、常識を疑うところにある。余談だが、私は小学校時代、あの有名な「ごんぎつね」の読書感想文を「ごん」の目線で書いてしまい、当時の担任の先生からお叱りを受けたことがあったので、いわゆる教科書に載っていないような児童文学に苦手意識があった。だからこそ、

こんな自由に感じていい絵本があるんだという、小学生時代の自分が救われるような小気味よさもあつたのだと思う。もう娘もこの本を音読してくれなくなつてしまつたが、私は人との関わりの中で迷うことがあるとこの本を開くようになった。「りんごかもしれないけど、本当は違うかもしれない。」と同じように、私が見ている彼女は大きな悲しみを抱えているのかもしれない。私が常識だと思っているこの概念は間違いかもしい。こんな風に考えることで、少しでも誰かを支えられるかもしれないと思つて。

NEWS 学園ニュース

ヘルシーメニューを発表
―食物栄養学科―

大学食物栄養学科の学生（当時3年生）たちは2月、「ヘルシーメニュークリエイション」で考案したメニューを発表した。

福島県や食品会社などで行くチャレンジふくしま県民運動推進協議会の主催。栄養系学科のある県内4大学が県民の健康づくりに生かせる減塩や低カロリーで、手軽にできるメニューを考えた。

福島市で開かれた発表会で、本学は、つなぎに菓子のハッピータインを使った「なすの挟み焼き」と柿の種で辛味を出した「じやがいものポタージュ」を披露。試食した元サッカー日本代表専属シェフの西芳照さんと一般参加者から好評を得た。

4大学のレシピは県内のスーパーマーケットなどで配布された。



▲ヘルシーメニューの発表会

双葉町の新人に
思い出の記念品

短大地域創成学科の令和4年度地域創成プロジェクト演習「つなぎデザインプロジェクト」は、双葉町の新人に贈る再生利用の記念品を製作した。

2年生（当時）6人が環境省福島地方環境事務所などと連携し、東日本大震災と原発事故により双葉町から避難した

当時小学生だった新成人に、故郷とのつながりを感じる品を贈ろうと取り組んだ。

学生たちは町内の小学校や児童館を訪れ、残されていたカーテンや鼓笛隊の衣装などの布材を再利用。双葉の青い海などをイメージしたカード

ケースとパッチワークの双葉ダルマ、ポストカードを作った。

記念品は1月7日に開かれた「はたちを祝う会」で贈られた。



▲双葉町の思い出をつなぐ記念品

三瓶さんが全国高校
弓道選抜大会で4位

附属高校弓道部の三瓶莉奈さん（当時2年）は第41回全国高校弓道選抜大会（12月23日、熊本市）の女子個人戦に出場し、第4位入賞を果たした。

個人戦には各ブロック大会を勝ち抜いた100人が出場。三瓶さんは予選、準決勝を通過し、18人で競う決勝に進んだ。4射目までに失敗した段階で外れる

射撃競技の決勝で三瓶さんは最後の4人に残ったが、的を小さくした5射目で優勝者以外は外し、順位を決める遠近法により惜しくも4位となった。

附属高校令和4年度（後期）
各種大会・コンクール成績

（学年は当時の学年）

【陸上競技部】

◆東北高等学校新人陸上競技選手権大会

◆5000M競歩②市川心菜（2年）

◆円盤投げ②宗像亜恋（1年）③鈴木麗菜（2年）⑧杉内彩乃（2年）

◆砲丸投げ⑥宗像亜恋（1年）

◆福島県高校駅伝2022

◆第3位 Ⅱ東北大会出場

◆東北高校駅伝

◆第10位

【テニス部】

◆福島県新人戦テニス選手権大会

◆ダブルス③大沼美優（2年）・吉田咲穂（2年）

◆第22回東北私学高等学校テニス大会

◆女子団体 第3位

【剣道部】

◆福島県高等学校選抜剣道優勝大会

◆女子団体 第1位 Ⅱ全国大会初出場

◆東北高等学校選抜大会

◆女子団体 予選リーグ2位

◆第32回全国高等学校剣道選抜大会

◆女子団体 1回戦惜敗

【新体操部】

◆東北高等学校選抜大会

◆団体総合 第3位

【個人総合】

◆佐藤若菜（1年）⑥横山花（2年）

◆種目別クラブ③佐藤若菜（1年）

【ハンドボール部】

◆福島県高等学校選抜ハンドボール大会

◆第1位 Ⅱ東北大会出場

◆東北高等学校選抜ハンドボール大会

◆第3位 Ⅱ全国大会出場

◆全国高等学校ハンドボール選抜大会

◆1回戦敗退

【バレーボール部】

◆第75回全日本バレーボール高等学校選手権大会

◆1回戦

◆本校1-2文京学院大学女子高（東京）

◆東北高等学校選抜大会

◆第3位

【マーチングバンド部】

◆第21回マーチングステージ全国大会

◆優秀賞

◆第76回福島県合唱コンクール

◆銀賞 Ⅱ東北大会出場

【研究部】

◆社会貢献活動コンテスト

◆社会貢献賞

【英語部】

◆第19回英語絵本コンペティション大会

◆福島県教育長賞 Ⅱ永崎紅亜（2年）

◆審査員賞 Ⅱ安齋千恵（1年）

【各種コンクール・コンテスト】

◆牛乳・乳製品利用料理コンクール

◆福島県大会

◆優秀賞（県2位） Ⅱ永崎紅亜（2年）

◆ミートデリカコンテスト福島県大会

◆優秀賞 Ⅱ佐藤瑠衣（3年）

◆佳作 Ⅱ鈴木杏奈（3年）

◆インスタントラーメンオリジナルコンテスト全国大会

◆入賞 Ⅱ永崎紅亜（2年）

ようこそ
郡山開成学園へ

新任教職員の方々のご紹介

郡山女子大学

（4月1日付）

【本採用】



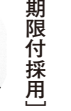
諏訪 雅貴 准教授

令和2年度から期限付採用・准教授



吉田 朱里 助手

平成30年度から期限付採用・助手



野口 周一 教授

筑波大学大学院博士課程歴史・人類学研究科単位取得後退学。令和2年4月から川口短期大学こども学科教授



島野 光正 准教授

明治学院大学社会学部卒。平成20年2月から社団法人郡山医師会郡山市医療介護病院



角田 真佐枝 講師

郡山女子大学家政学部食物栄養学科卒。平成4年8月から仁泉会梁川病院



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



所属 Ⅱ 生活科学科



佐々木 郁子 講師

埼玉大学大学院教育学研究科教科教育学専攻修士課程。令和4年4月から静岡福祉大学子ども学部子ども学科講師

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

所属 Ⅱ 幼児教育学科

スポーツ栄養研究所を開設 食・栄養と運動の関わり研究

大学の新たな附属機関として「スポーツ栄養研究所」が令和5年度から開設された。スポーツ力の向上を食と栄養の視点でサポートし、同時に幅広い年齢層における健康に対するスポーツの意義を研究する。

学生には「スポーツ栄養(学)」を学修・研究する機会を提供。栄養士系や福祉系の学生にとつて、アスリートに対する栄養サポートや、保健施設に



研究に活用する運動量の測定

される。
所長は紺野信弘大学副学長が務める。

研究所の活動第一弾は 高校卓球部のサポート

スポーツ栄養研究所の始動は、附属高校卓球部の栄養サポートとなった。

4月20日に食物栄養学科岡部研究室で学ぶ4年生が、新入生を迎えた附属高校卓球部の生徒と、インボディ・ヘモグロビン測定などの身体測定を通して交流した。AIによる食事解析や活動量計を用いた活動量



卓球部員に説明をする学生

の計測などから摂取量と消費量の評価を行い、個別の栄養教育に役立てる。

附属高校卓球部全国選抜初のベスト16 選手、応援が一体で快挙

附属高校卓球部は3月24日から27日まで愛知県豊田市で開かれた第50回記念全国高等学校選抜卓球大会で初の全国大会ベスト16入りを果たした。

卓球部は2月の東北高校選抜大会で3位に入賞し、東北代表として3年連続5回目の全国選抜大会に出場した。予選リーグで岩国商業(山口県)、四国学院香川西(香川県)、龍谷大平安(京都府)に勝って、16チームで競う決勝トーナメントに進出した。

トーナメント1回戦で、今大会で準優勝した香ヶ丘リベルテ(大阪府)に敗れたが、選手一人ひとりが熱いプレーを繰り広げ、ベンチが一体となった応援や明るい雰囲気は会場でひととき目を引き、卓球関係者の話題となった。

卓球部の選手と指導者は「保護者の方々の声援もあって実力を出し切ることができた」と感謝。さらに、大学食物栄養学科岡部研究室との連携による食事量・活動量調査、体組成計測などの科学的エビデンスに基づいた栄養指導の成果でも



選手の熱いプレーに沸くベンチ



初のベスト16を喜ぶ卓球部関係者

あるとしている。

BOOK 第22回 郡山女子大学 大学図書館

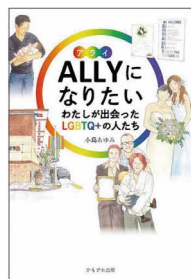
新しい本が届きました。
令和4(2022)年11月～12月にウェブサイトを用いて開催した、学生参加選書企画「Net de 選書ツアー2022」にて、参加した学生さんが選んだ本の一部をご紹介します。



思わず
考えちゃう
ヨシタケシンスケ著、
新潮社
請求記号
914.6||Yo



青くて痛くて
美しい
住野よる著、
KADOKAWA
請求記号
913.6||Su63



ALLYになり
たい わたしが
出会った
LGBTQ+の人たち
小島あゆみ著、
かもがわ出版
請求記号
367.9||Ko



文豪 きょうは
何の日?
立東舎;
リットーミュージック、
立東舎[リットー
ミュージック(発売)]
請求記号
910.26||Ri

木もれ陽

付度という言葉が一般的に用いられるようになって久しいが、デモクラシーが発達している国々で、この「付度」は理解し難い行為なようだ。目上の人を敬い付度する姿勢は日本伝統社会の精神美であり、揺るぎ無い社会構造を構築してきた。しかし、社会の共有価値観が分断され、心の拠り所を見失っている現代において、これまでの伝統的社会的構造が正しく機能するかどうかは甚だ怪しい。家庭や労働の在り方・LGBT・イデオロギー・地球環境問題など含め、世界は日々新しい規範を

探っている。今日の日本社会は慣習、利権への執着で、人間関係や労働生産性に破綻を生じさせてはいまいか? 陳腐な言葉のようではあるが、若者には愛情と正義を持った行動を期待している。臆することなく空気を読まず、自分たちの本音で語り合い、時代に適応した社会を構築していくことを期待する。空気を読むことで創造性は育くまれない。形式的な立場主義を脱して、個々の生き甲斐をベースに時代環境に適応する創造性の涵養が必要である。教育は、その後押しとなることを願う。(仁)

第68回卒園記念屏風

附属幼稚園

令和4年度の卒園児が描いた屏風です。追いかけてこや夏期保育の花火など楽しかった思い出をはじめ、大きくなったらなりたい消防士、お医者さん、モデル、農家、ケーキ屋さんなどの夢を表しました。



まつ組
「みんなの ゆめ」



やなぎ組
「やなぎぐみのおもいでと
みらいのゆめ」

紙上美術展
100